

2023年11月20日

各位

会社名 株式会社ピーバンドットコム
代表者名 代表取締役社長 後藤 康進
(コード番号：3559 東証スタンダード)

2024年3月期第2四半期 決算説明動画 及び質疑応答 公開のお知らせ

当社は、2023年11月13日（月）に開示いたしました「2024年3月期第2四半期決算」に関する説明動画を公開いたしましたのでご案内いたします。

代表取締役社長の後藤康進より、決算説明資料に基づき、決算概要/事業戦略ならびに新たに当社が志すパーパスについて語っております。

また、先日開催いたしました「2024年3月期第2四半期決算説明会」の質疑応答内容についても公開いたします。

■ 2024年3月期第2四半期 決算説明会動画（動画メディア「IRTV」：所要時間11分）
URL：<https://youtu.be/LA-erIy8TV4>

■ 決算説明会概要

日時：2023年11月17日（金）17時～17時30分
開催方法：Zoom ウェビナー

■ 参考：2024年3月期第2四半期 決算補足資料

https://ssl4.eir-parts.net/doc/3559/ir_material_for_fiscal_ym/144894/00.pdf

■ 質疑応答（要旨）

別紙をご参照ください。

■ 会社概要

<株式会社ピーバンドットコム>

本 社：〒102-0076 東京都千代田区五番町 14 五番町光ビル 4F

代表者：後藤 康進

URL：<https://www.p-ban.com/corporate/>

事業内容：「アイデアと探究心で、“あたりまえ”を革新する。」をパーパスに掲げ、
プリント基板ネット通販のパイオニアとして EC サイト「P 板.com」を運営

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社ピーバンドットコム IR 担当

電話番号：03-3265-0343 E-mail：ir@p-ban.com

問い合わせ窓口：https://www.p-ban.com/corporate/ir/contact_form.html

以上



【別紙】

株式会社ピーバンドットコム
2024年3月期第2四半期 決算説明会質疑応答要旨

2023年11月17日（金）開催の2024年3月期第2四半期 決算説明会において、出席者の皆様からいただいたご質問と当社の回答の要旨を掲載いたします。

【質問1】

Q：プリント基板の通販サイト「P板.com」の海外展開、「P板.com」システムを他社へ貸し出す検討はあるのか。検討しないのであれば、その理由を教えてください。

A：①「P板.com」の海外展開について

世界的なプリント基板のEC市場に関する開示情報は少ないですが、中国深圳の基板メーカーが運営するECサイトの圧倒的な価格の安さは「大きな脅威」と捉えています。当社は価格競争に身を投じることなく、いまは国内市場または海外現地法人のお客様をターゲットとする付帯サービスで、高品質と利便性を維持しながら事業を進めていきたいと考えています。

②「P板.com」システムの貸し出しについて

これまでも検討はしてはりましたが、まだ構想・模索段階にあります。当社がプリント基板製造のために開発したシステムですが、別の商材にも応用が可能であると考えています。例えば、当社システムを介し、ユーザーが受託側であるメーカーにもなりえる構想が想定できます。他社との連携は視野に入れていきますので、引き続き検討を続けます。

【質問2】

Q：決算サマリーでは、基板EC事業で顧客単価が上昇、S-GOK事業でIoT関連や大手からの引き合い増加と良い話題が上がっているのに、売上の伸びが鈍いのはなぜか。

A：ECの売上構成比では、主に中小・個人事業主のお客様による、他ECとの使い分けで受注件数の減少が現れています。一方で中堅大手企業のお客様は増加傾向にあり、それを戦略の勝ち筋としていますが、差し引きで、成長が横ばいに見えてしまうというのが実情です。顧客層の変化は、サービスがメインストリーム市場へ拡大していけるかの過渡期と捉えており、しっかりとマジョリティ層の顧客ニーズの変化を捉えて、変化していくことで、安定的な成長路線に乗せていけると前向きにとらえています。

S-GOK事業は、ECと比較し1案件あたりの受注金額が高額ですが、商談発生から受注までのリードタイムが長い傾向にあります。そのため、当四半期の業績に大きくヒットすることはありませんでしたが、増加する商談に営業人員を増やして対応することで、確実に受注へつなげたいと考えます。

以上